

飲み物・軽食ご用意します！

ゆったりとリラックスして病院でのアートやデザイン

の取り組みについてお話ししましょう！

参加無料です。

2015年

5月14日(木)

18:00-19:30

場所：1階 外来ラウンジ
(通称：ひだまりラウンジ)

ふかまる カフェ

筑波大学芸術系学生と筑波メディカルセンター職員が集うアートカフェ 第4弾！！

筑波大学の芸術と病院が協働で行っているアートやデザインによる環境改善の取り組みは9年目になります。また2012年からは両者の交流を活発にするために「はじまるカフェ」を実施し、「ひろがるカフェ(2013)」「つながるカフェ(2014)」と名前を変えながらこのカフェや活動は成長してきました。今年度は育んできたつながりや関係を深めていくことを目指して「ふかまるカフェ」を開催します！
新年度スタートのこの時期にみんなでお茶を飲みながら、病院でのアートやデザインのあり方について話をしてみませんか？！

①核医学検査 待ち合い室 あかりのデザイン

パブリカ(学生デザインチーム) × 放射線技術科

②ホスピタルストリートと3号棟のサイン計画

木村浩研究室(情報デザイン) 当院の病院案内図や筑波実験植物園のサイン計画などを手がけています。

③紡ぎの庭の誕生秘話とこれから

渡和由研究室(環境デザイン) 紡ぎの庭のデザイン監修を手がけ、ペDESTリアンデッキの場づくりを研究しています。

④ゴブリン博士による

「さくらゴブリンをつくろう！」「ねがいごとの森ゴブリン」の解説

ゴブリン博士(アーティスト)

⑤病院で生まれたデザインは社会で認められるのか？

軸屋智昭病院長 × 貝島桃代准教授(建築デザイン)

昨年度に行った活動や現在進行中の活動について、学生と関係部署の職員によるプレゼンテーションブースを設けます。活動内容やエピソードの紹介を行いながら意見交換をしたいと思います。聞きたい内容のブースを自由に回ってください。